

平成28年(2016年)の主な気象災害(1)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
1月4日	濃霧	4日朝、高気圧に覆われて晴れたため、湿った空気が冷やされて局地的に濃霧が発生した。	4日7時41分頃、JR山陽本線の岡山駅 - 倉敷駅間で濃霧により一時運転を見合わせ23本の列車に遅延が発生した他、JR瀬戸大橋線の備中箕島駅で濃霧のため目標物が確認できず、列車がオーバーランしたため、16本の列車に遅延が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
1月18日～20日	強風 大雪	17日夜遅くから18日朝にかけて前線を伴った低気圧が九州、四国の南海上を発達しながら東北東に進んだ後、強い冬型の気圧配置となり、20日まで冬型の気圧配置が続いた。このため、南部を中心に強風となり、北部では大雪となったところがあった。	18日18時10分頃、強風によりJR瀬戸大橋線では快速マリンライナーが一時立ち往生するなど、19日にかけて運転を見合わせ他、19日夜から20日朝にかけて新見市と高梁市では風雪や配電設備の凍結により、停電が発生した。また、18日夕方から19日朝にかけて路面凍結によるスリップ事故が県内の一般道、高速道合わせて18件発生した他、20日朝にはJR伯備線、JR津山線で雪によるポイント障害等により、合わせて運休2本、遅延16本が発生した。
1月24日～25日	大雪 低温	24日から25日にかけて強い冬型の気圧配置となり、西日本の上空約1500メートルに氷点下12度以下の強い寒気が流れ込み、山地を中心に大雪となった。また、日最低気温が氷点下となったところが多く、特に、25日はアメダス奈義で-13.7、久世で-10.9、高梁で-8.3を観測し、日最低気温低い方からの値の1月としての1位を更新した(久世は通年の1位も更新した)。	24日4時58分頃、JR因備線の智頭駅(鳥取県) - 津山駅間で積雪により運転を見合わせ他、25日にかけてJR芸備線、JR伯備線、JR山陽本線で積雪や低温により運転を見合わせ、4線に合わせて運休50本、遅延27本が発生した。高速道路では中国、米子、岡山自動車道の一部で一時通行止めとなったが、25日夕方までに解除となった。岡山空港では全日空の岡山発東京行き始発便1便が欠航した。両備バスは25日高速バス16便、路線バス5便を運休にした。24日夕方から25日朝にかけて県内のスリップ事故は31件発生し、6人が軽傷を負った。また、新見市では自宅近くで除雪作業をしていた70代男性が転倒して足の付け根を骨折した。さらに厳しい冷え込みにより、岡山市、倉敷市等では25日午後までに水道管の凍結や破裂が872件に上った。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
1月29日	その他(雨)	29日昼過ぎから夜にかけて、前線を伴った低気圧が四国の南岸を東に進んだため、県内全域でまとまった雨となり、1月の日降水量の極値をアメダス8地点で更新した。	29日15時27分頃、JR津山線の金川駅 - 建部駅間で落石により運転を見合わせ、運休5本、遅延18本が発生した。17時44分には運転を再開した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
2月13日～14日	雷 強風	13日夜、日本海の低気圧に向かって南から湿った空気が流入し、岡山県では大気の状態が不安定となり局地的に発雷した。また、低気圧は発達しながら日本海を北東に進み、14日午後を中心に強風となった。	13日23時頃、JR赤穂線(西大寺駅 - 大富駅間)の吉井川付近に設置された風速計に落雷があり故障したため、4本の列車に遅延が発生した他、強風により14日14時30分頃から15時23分にかけて、JR瀬戸大橋線(児島駅 - 宇多津駅、坂出駅間)で特急の一部列車や快速マリンライナーが一時運転を見合わせ、併せて運休43本、遅延40本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
3月31日	濃霧	31日朝、高気圧に覆われて晴れたため、湿った空気が冷やされて局地的に濃霧が発生した。	局地的な濃霧のため、新岡山港(岡山市)と土庄港(小豆島)を結ぶフェリー2便(31日7時20分、8時30分の新岡山港発)が欠航した。
4月16日～17日	強風	17日は前線を伴った低気圧が日本海を発達しながら北東に進んだため、日中を中心に局地的に強風が吹いた。	17日10時29分頃、JR宇野線の岡山駅 - 宇野駅間の風速計が規制値を超えたため、運転を見合わせ、運休14本、遅延36本が発生した他、JR山陽線の熊山駅 - 万富駅間では飛来物が架線に付着し遅延5本が発生した。JR瀬戸大橋線でも午前10時半から約5時間、断続的に強風が吹き、運休や遅延が発生した。また、岡山市南区では高圧配電線に強風であおられた樹木が接触したため、約1,400戸が停電した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
5月3～4日	強風	3日から4日にかけて、発達した低気圧が朝鮮半島北部から沿海州を北東に進んだため、岡山県では4日日中を中心に強風となった。	4日14時34分頃、JR宇野線の岡山駅 - 宇野駅間の風速計が規制値を超えたため運転を見合わせ、運休2本、遅延8本が発生した他、JR瀬戸大橋線でも午後1時半から午後4時40分頃まで断続的に運転を見合わせ運休が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
5月27日	その他(風)	27日、高気圧におおわれ概ね晴れていた。	27日11時50分頃、倉敷市笹沖の倉敷市立葦高小学校運動場でじん旋風(つむじ風)とみられる突風が吹き、設置していたテントが飛ばされ、パイプで頭部を打撲するなど6名(救急搬送者は3名)の負傷者が出た。
6月12日～13日	大雨 強雨	12日夜から13日朝にかけて、梅雨前線上に発生した低気圧が九州南部から四国沿岸を東北東に進んだため、県南部で大雨となった。	大雨により、倉敷市と浅口市では法面の崩落、護岸の崩落などの被害が発生し、土砂災害は併せて13ヶ所、道路損壊は1ヶ所あった。
6月21日～25日	大雨 強雨	19日から25日にかけて、本州付近に梅雨前線が停滞し、その前線上を次々と低気圧が通過したため、岡山県では県南西部(主に笠岡市)で総雨量が200ミリを超える大雨となった。	大雨により、21日明け方から倉敷市で床下浸水1棟が出始め、22日から25日にかけて笠岡市、高梁市を中心に土砂崩れや道路損壊の被害が多発し、土砂災害80ヶ所の被害が発生した。また、里庄町では民家の裏山が崩れ住宅や倉庫に土砂が流入した他、笠岡市、浅口市では併せて床上浸水6棟、笠岡市他3市で併せて床下浸水47棟の浸水被害があった。交通機関では24日夕方、JR山陽線の笠岡駅 - 大門駅(広島県)間で線路内に土砂が流入し、27本の電車が遅れが発生し、さらに強雨により、24日昼前から夜遅くにかけて、JR伯備線(日羽駅 - 備中川面駅間)、山陽線(新倉敷駅 - 金光駅間)、津山線(玉柏駅 - 野々口駅間)、姫新線(月田駅 - 新見駅間)で降雨による規制のため運転を見合わせ、併せて運休14本、遅延43本が発生した。

平成28年(2016年)の主な気象災害(2)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
7月4日～5日	雷 強雨	4日から5日にかけて、湿った空気と強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴った激しい雨となった。	4日15時54分頃、JR伯備線の日羽駅 - 美袋駅間で落雷により踏切保安設備が焼損したため、運転を見合わせ遅延4本が発生し、5日はJR因美線の高野駅 - 智頭駅(鳥取県)間で降雨による規制のため運転を見合わせ、運休6本、遅延3本が発生した。また、落雷により、4日は高梁市、井原市併せて10戸、5日は美作市で1,100戸の停電が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
7月8日～9日	大雨 強雨	8日夜から9日朝にかけて、梅雨前線の低気圧が九州北部から四国地方を東に進んだため、南から湿った空気が流入し、県南部を中心に大雨となった。	大雨により岡山市北区で民家の敷地内の斜面が崩れ、住家の一部が損壊した。また、JR伯備線の日羽駅 - 備中広瀬駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、運休2本、遅延23本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月6日	強雨 その他(雨)	6日午後、上空の寒気と強い日射の影響で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。	強雨により、JR姫新線の久世駅 - 月田駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、運休4本、遅延7本が発生した。また、真庭市惣では河川の護岸が1ヶ所崩壊した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月8日	雷	8日午後、上空の寒気と強い日射の影響で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。	8日17時27分頃、JR伯備線の日羽駅 - 美袋駅間で落雷により踏切保安設備が焼損したため、運転を見合わせ遅延11本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月15日～16日	強雨 雷	15日から16日にかけて、気圧の谷や湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。	大雨により、15日午後は岡山市の市街地で道路冠水(件数不明)が相次ぎ、北区番町では民家の土間に水が侵入(床下浸水)した他、JR岡山駅の地下街では雨が流れ込んで通路などが水浸しとなった。また、交通機関ではJR津山線の岡山駅 - 玉柏駅間、JR吉備線の岡山駅 - 備中高松駅間、JR宇野線の岡山駅 - 茶屋町駅間、JR山陽線の岡山駅 - 庭瀬駅間、JR因美線的那岐駅 - 高野駅間で雨量計が規制値に達したため、運転を見合わせ、併せて運休115本、遅延174本が発生した。このため、岡山駅では約400人がホ - ムの列車で夜を明かした。また、落雷により、15日と16日に岡山市中区で併せて5,300戸の停電が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月26日	強雨 雷	26日夕方から夜のはじめにかけて、日本海から南下した前線や湿った空気の影響で、岡山県では大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。	大雨により、岡山市では床下浸水が9棟(北区3、南区6)発生した他、道路冠水のため全面通行止めが2件(北区)発生した。交通機関ではJR姫新線の上月駅(兵庫県) - 美作駅間、JR山陽線の岡山駅 - 庭瀬駅間、JR吉備線の岡山駅 - 備中高松駅間、JR津山線の岡山駅 - 玉柏駅間、JR宇野線の岡山駅 - 茶屋町駅間で雨量計が規制値に達したため、運転を見合わせ、併せて運休70本、遅延117本が発生した。また、落雷により、赤磐市、岡山市併せて1,902戸の停電が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月29日	大雨 強雨 雷	28日夜から29日朝にかけて、上空に寒気を伴った低気圧が九州北部から中国地方を東北東に進み、湿った空気も流入していたため、大気の状態が非常に不安定となり、南部を中心に雷を伴った局地的な大雨となった。	大雨により、岡山市東区の住家で床下浸水1棟が発生した他、県道、市道で冠水2件、道路損壊2件、雨量基準1件のため全面通行止めとなった。また、JR津山線の玉柏駅 - 佐良山駅間、JR赤穂線の備前福河駅(兵庫県) - 東岡山駅間、JR姫新線の上月駅(兵庫県) - 美作追分駅間、JR山陽線の三石駅 - 瀬戸駅間、JR因美線的那岐駅 - 東津山駅間で雨量計が規制値に達したため、運転を見合わせ、併せて運休113本、遅延129本が発生した。また、落雷により、倉敷市で約2,000戸の停電が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
9月6日	強雨 その他(雨)	6日午後、日射と湿った空気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。	JR姫新線の月田駅 - 岩山駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、運休6本、遅延12本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
9月17日～19日	強雨 その他(雨)	17日から19日朝にかけて西日本に停滞していた前線の影響で断続的に強い雨が降り、特に18日夜は暖かく湿った空気の影響も加わり、大気の状態が非常に不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。	JR岡山支社管轄の7路線で降雨による規制のため運転を見合わせ、のべ運休68本、遅延65本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
9月20日	大雨 強雨 高潮 強風 波浪	台風第16号が20日未明に鹿児島県大隅半島付近に上陸後、九州南部、四国の沿岸を東北東に進み、20日昼過ぎには和歌山県田辺市付近に再上陸した。このため、県南部を中心に激しい雨が降り大雨となった。また、沿岸の一部で高潮が発生した。	大雨により、備前市、瀬戸内市で道路冠水がそれぞれ1ヶ所発生し、全面通行止めとなった他、高梁市では県道の路側崩土が1ヶ所、真庭市で県道の法面崩土が1ヶ所、久米南町で県道の法面崩落が1ヶ所あり、それぞれ全面通行止めとなった。また、倉敷市沿岸では、高潮により非住家の床下浸水が4棟発生した。交通機関では、JR因美線、伯備線、吉備線で風速が規制値に達し、JR赤穂線、山陽線で雨量が規制値に達し、それぞれ運転を見合わせ、のべ運休45本、遅れ58本が発生した。海上ではフェリーの欠航が2路線あった。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。

平成28年(2016年)の主な気象災害(3)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
9月25日～26日	大雨 強雨 その他(雨)	25日夜から26日朝にかけて、山陰沖の前線に向かって湿った空気が流入し、岡山県では大気の状態が不安定となり局地的に激しい雨が降り、南部を中心に大雨となった。	大雨により、倉敷市児島で民家の裏山が崩れた他、美咲町では県道沿いの崩土が発生した。また、25日はJR伯備線の備中広瀬駅 - 備中川面駅間で、26日はJR宇野線の茶屋町駅 - 宇野駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、併せて運休6本、遅延32本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
5月1日～9月30日	高温(長期)	7月から8月を中心に高気圧に覆われることが多く、晴れて気温が上昇した。	5月1日から9月30日までの5ヶ月間で、熱中症と見られる症状により緊急搬送された患者は1466名に達した(県消防保安課調べ)。患者のうち、6月18日には浅口市で70代の男性が、7月3日には倉敷市で70代の男性が熱中症と見られる症状で病院に搬送されたが亡くなった(緊急搬送数に含まれる)。
10月5日	強風 波浪	3日15時、久米島の南約160kmの海上で猛烈な勢力となった台風第18号は、徐々に勢力を弱めながら東シナ海を北上し、5日朝にチェジュ島付近で進路を東よりに変えて対馬海峡を通過し、速度を上げながら山陰沖を進んだ後、5日21時には佐渡沖で温帯低気圧に変わった。このため、岡山県では5日、南から西よりの強い風が吹き、海上では波が高くなった。	笠岡市・岡山市・備前市の定期船(フェリー、旅客船)が始発から運行を見合わせ、計18便(香川県発着便除く)が欠航した他、JR瀬戸大橋線では風速が規制値を超えたため、一時運転を見合わせ運休や遅延が発生した。なお、災害発生日は船の出発時刻による。
10月9日	強雨	9日未明、北海道付近の低気圧からのびる寒冷前線が岡山県を南下したため、大気の状態が不安定となり、局地的に激しい雨が降った。	JR芸備線の備中神代駅 - 道後山(広島県)駅間とJR姫新線の岩山駅 - 新見駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、併せて遅延8本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
10月17日	強雨	17日未明から明け方にかけて、気圧の谷や湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に激しい雨が降った。	JR山陽線の三石駅 - 吉永駅間とJR姫新線の岩山駅 - 新見駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、併せて遅延8本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
12月5日	濃霧	5日朝、高気圧に覆われて晴れたため、湿った空気が冷やされて局地的に濃霧が発生した。	5日午前7時36分頃、JR宇野線の岡山駅 - 妹尾駅間で局地的に濃霧が発生し一時運転を見合わせた。この影響で37本の列車に遅延が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
12月15日～16日	大雪	15日夜から16日にかけて強い冬型の気圧配置となり、西日本の上空約5000メートルに氷点下35度の強い寒気が流れ込み、岡山県では山地を中心に大雪となった。	16日6時20分頃、大雪の影響により米子自動車道下り線の湯原IC - 蒜山IC間で一時通行止めとなった他、人身や物損の事故が9件発生した(高速道路含む)。なお、災害発生日は高速道路規制時刻による。